

10月9日(金曜日)「70人の弟子たち」

【新改訳 2017】

ルカ 10.1、2

「その後、主は、別に70人を定め、ご自分が行くつもりの方々の町や村へ、ふたりずつ先にお遣わしになった。そして、彼らに言われた。『実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に……働き手を送ってくださるように祈りなさい。』」

主は、先に十二使徒を立てて派遣されました。(9・1-6)が、今度は七十人の弟子を遣わされました。『七十人』は、おそらく、イスラエルの七十人の長老たちとの関係で決められたのでしよう。

この時、主は「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に……働き手を送ってくださるように祈りなさい」と語られました。今日も全く同じです。どうして直接伝道の収穫のための献身者が少ないのでしょうか。主の教会の「求人広告」は、2千年もの間出され続けています。皆、自分が救われることで満足して終わっているのでしょうか。日本では、まだ99%の人が救われていないのです。

「未完了の重大な仕事」のために、あなたは、何をしておられますか。

～祈り～

主よ。どうか日本に、そして私たちの県や市、町や村に、あなたのこのすばらしい福音のために献身的に奉仕する働き手を起こしてください。この偉大な仕事のために！

【学びのために】

70人の弟子については、本文で、イスラエルの70人の長老たち(民数 11.16)との関係であろうと書いていますが、創世 10 章の 70 の民族(異邦の民族)の系図と関係しているとする考えもあります。ただし、このことは重大な問題ではありません。